

宿泊約款・利用規則

Accommodation Agreement

宿泊約款

第1条 適用範囲

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条 宿泊契約の申込み

- ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

第3条 宿泊契約の成立等

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条 申込金の支払いを要しないこととする特約

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条 宿泊契約締結の拒否

- 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - 満室により客室の余裕がないとき。
 - 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（1991年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力。
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの。
 - 宿泊しようとする者が伝染病に罹患しているとき、或いは伝染病に罹患していると明らかに認められるとき。
 - 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - 宿泊しようとする者が、泥酔等により、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（京都府旅館業法施行条例第5条の規定に基づく）
 - その他当ホテルの判断により宿泊不適当とみなしたとき。

第6条 宿泊客の契約解除権

- 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払を求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後6時（あらかじめ、到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条 当ホテルの契約解除権

- 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。又は同行をしたと認められるとき。
 - 宿泊客が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力。
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの。
 - 宿泊客が伝染病に罹患しているとき、或いは伝染病に罹患していると明らかに認められるとき。
 - 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 宿泊客が、泥酔等により他の宿泊者に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（京都府旅館業法施行条例第5条の規定に基づく）
 - 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - 宿泊客が当ホテルの支払規定に応じられないとき。
 - その他当ホテルの判断により宿泊不適当とみなしたとき。
- 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第8条 宿泊の登録

- 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。



宿泊約款・利用規則

Accommodation Agreement

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、パスポートの呈示、並びにコピー等をさせていただきます。
 - 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第9条 客室の使用時間

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から出発日の午前11時までとします(但し、予約内容によっては使用時間が異なる場合があります)。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を基本として申し受けます。
 - 超過4時間まで室料金の30%
 - 超過7時間まで室料金の50%
 - 超過7時間以上室料金の100%

第10条 利用規則の遵守

宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条 営業時間

- 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示等でご案内いたします。
フロントキャッシャー等サービス
イ、門限(1階正面玄関)なし ※深夜から早朝にかけて正面玄関がロックされますので、正面玄関脇のドアよりカードキーをご使用になりご入館ください。
ロ、フロントサービス24時間
ハ、両替24時間
レストラン営業時間
別項レストランのご案内に記載がございます。
- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせします。

第12条 料金の支払い

- 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は別表第1に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても宿泊料金は申し受けます。

第13条 ホテルの責任

- 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 当ホテルは、消防機関から消防法令適合通知書を受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条 契約した客室の提供が出来ないときの取扱い

- 当ホテルで、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは補償料を支払いません。

第15条 寄託物の取扱い

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし現金及び貴重品については、当ホテルがその種類および価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれをおこなわなかったときは当ホテルは20万円を限度としてその損害を賠償します。
- 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じた場合以外は、当ホテルは賠償いたしかねます。

第16条 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるとします。ただし、所有者の指示がない場合、又は所有者が判明しないときは、遺失物法に基づき処理します。
- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前項第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

第17条 宿泊客の責任

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第18条 支配する国語

本約款は日本語と他言語で作成されますが、約款の両文の間に不一致または相違があるときは日本語がすべての点について支配するものとします。

第19条 管轄および準拠法

本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第1 宿泊料金等の内訳 (第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳	
宿泊客が 支払うべき総額	基本料金	①室料	②サービス料(①×10%)
	追加料金	③飲食料及びその他の利用料金	④サービス料(③×10%)
	税金	⑤消費税	⑥宿泊税

備考1. 室料は当ホテルが掲示する料金表によります。

備考2. 税法が改正された場合はその改正された規定によるものとします。



宿泊約款・利用規則

Accommodation Agreement

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を受けた日		不泊	当日	前日	7日前	21日前
一般	9名まで	100%	100%	80%	40%	—
団体	10名以上	100%	100%	80%	40%	20%

- (注) 1. %は基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を取受します。
3. 団体客の契約解除があった場合、宿泊の8日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合は切り上げ）にあたる人数については、違約金はいたしません。

ご利用規則

当ホテルではお客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第10条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。お守りいただけない場合は、宿泊約款第7条によりやむを得ずご宿泊またはホテル内施設のご利用をお断り申し上げます。また、責任をおとりいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

(安全と保安上お守りいただきたい事柄)

- 客室内では暖房用、炊事用等の火器及びアイロン等の持ち込みはご遠慮ください。またご使用にならないでください。
- ベッドなど火災の原因になりやすい場所での喫煙をなさらないでください。
- その他火災の原因となる行為はなさらないでください。
- 客室からの“避難経路図”は各客室ドア内側に表示しておりますのでご確認ください。
- ご滞在中、お部屋から出られる時は施錠をご確認ください。（当ホテルは自動施錠になっております）
- ご滞在中、特にご就寝の時は内鍵、ドアフックをお掛けください。ご来客があった場合には不用意に開扉なさらずドアフックを掛けたまま開扉するかドアスコープをご確認ください。万一、不審者と思われる場合にはフロントまでご連絡ください。
- ご訪問客との客室でのご面会はご遠慮願います。
- 宿泊登録者以外のご宿泊は固くお断りいたします。

(貴重品、お預かり品のお取り扱いについて)

- 現金、その他貴重品の保管につきましては必ず客室備え付けの金庫をご利用ください。金庫をご利用いただくに現金、または貴重品の紛失や、破損・盗難にあわれましても、その損害の賠償はいたしかねますのでご了承ください。
- 原則としてお預かりいたしました洗濯物やお忘れ物は特にご指定のない限り、法令の定める手続きを取らせていただきます。

(お支払いについて)

- 料金の支払いは通貨、クレジットカード、または当ホテルが認めた旅行小切手、もしくはクーポン券によってお支払いいただけます。但し、ご滞在中、ご利用金額が10万円を超えた場合は、その都度ご精算願います。
- ホテル内のレストラン、バーなどをご署名にてご利用になる場合、必ずご到着時にフロントでお渡しする宿泊カードをご呈示ください。
- 都合によりご到着時にお預かり金を申し受けることがございますのでご了承ください。
- 旅行小切手以外の小切手でのお支払い及び両替には応じかねますのでご了承ください。
- ホテルオリジナル商品等のお買い物代、航空券、列車、バス等の切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物輸送料等のお立て替えはお断りさせていただきます。
- 勝手ながら所定の税金の他、お勘定の10%をサービス料として加算させていただきます。その他の従業員へのお心付けはご辞退申し上げます。

(おやめいただきたい行為)

- ホテル内に他のお客様の迷惑になるような物をお持込みにならないでください。
(a)犬、猫、小鳥などの動物、ペット類全般。
上記の定めに関わらず、身体障害者補助犬法に定める盲導犬、聴導犬、介助犬の同伴は可能です。
(b)発火または引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある製品。
(c)悪臭及び強い臭いを発する物。
(d)許可証のない鉄砲、刀剣類。
(e)著しく多量のお荷物、及び物品。
(f)その他、法令で所持を禁じられている物。
- ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、他のお客様の迷惑となったり、嫌悪感を与えたりするような行為はおやめください。
- 当ホテルに許可なく客室やロビーでの営業行為や事務所等のご宿泊以外の目的でのご利用はおやめください。
- ホテルの外観を損なうような物を窓に掛けたり、窓側に陳列したりしないでください。
- ホテル内で許可なく広告・宣伝物を配布したり、物品の販売をしたりしないでください。
- ホテル内の施設・備品を所定の場所・用途以外での使用や、現状を著しく損なうようなご利用はしないでください。
- ホテル内で撮影された写真等を許可なく営業上の目的で公にすることは法的措置の対象となることがございます。
- 廊下やロビーに所持品を放置することはおやめください。
- ナイトウェア、バスローブ、スリッパで廊下、ロビー、レストラン等、客室以外の施設にお出掛けにならないでください。
- 緊急事態、或いはやむを得ない事情が発生しないかぎり非常階段、屋上、機械室などお客様用以外の施設には立ち入らないでください。
- 未成年者のみでのご宿泊は保護者の許可がないかぎりお断りいたします。
- 不可抗力以外の事由により建造物、家具、備品、その他の物品を損傷、汚染、または紛失させた場合には相当額を弁償していただくことがございます。
- 指定場所以外での喫煙はおやめください。
- 客室内よりお電話をご利用の際は、施設利用料が加算されておりますのでご了承ください。



Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 1. Scope of Application

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions, and any particulars not herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2. Application for Accommodation Contracts

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following Particulars:
 - (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
 - (4) Other Particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the same time such request is made.

Article 3. Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be Paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Article 4. Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 5. Refusal of Accommodation Contracts

1. The Hotel may decline to conclude an Accommodation Contract under any of the following cases:
 - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
 - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
 - (4) When the Guest seeking accommodation falls under any of the below categories.
 - 1) Deemed to be a member of a designated organized crime syndicate under Article 2, Clause 2 of the "Act on Prevention of Unjustifiable Acts by Members of Crime Syndicates" (Act No.77,1991), or linked to an organized crime syndicate under Article 2, Clause 6, (hereafter, "an organized crime syndicate" and "a member of an organized crime syndicate"), or any anti-social organizations.
 - 2) Deemed to be linked to business activities that are under the control of a designated crime syndicate or other unlawful organizations.
 - 3) Deemed to be employed in any corporation in which any of the directors have been proven to be members of an organized crime syndicate.
 - (5) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (6) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden on behalf of the Guest, or due to destructive requests by the Guest.
 - (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
 - (8) When a person requesting Hotel accommodations is obviously intoxicated and could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests (when the provisions of Article 5 of the Kyoto Municipal Ordinance are applicable);
 - (9) When the Guest seeking accommodation is deemed unsuitable by the Hotel because of other particulars.

Article 6. Right of the Guest to Cancel Accommodation Contracts

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same time shall apply only when the Guest informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 6 p.m. of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7. Right of the Hotel to Cancel Accommodation Contracts

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:
 - (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;
 - (2) When the Guest is deemed to fall under any of the below categories.
 - 1) Belonging to, a member of, or linked to a designated organized crime syndicate or other antisocial group.
 - 2) Linked to business activities that are under the control of a designated crime syndicate or other unlawful organizations.
 - 3) Employed in any corporation in which any of the directors have been proven to be members of an organized crime syndicate.
 - (3) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (4) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden on behalf of the Guest, or due to destructive requests by the Guest.
 - (5) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - (6) When the Guest is obviously intoxicated and could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests (when the provisions of Article 5 of the Kyoto Municipal Ordinance are applicable);
 - (7) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to prevent fires);
 - (8) When the Guest is unable to accept payment regulations established by the Hotel;
 - (9) When the Guest seeking accommodation is deemed unsuitable by the Hotel because of other particulars.
2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services to be provided during the future contractual period which he has not received.

Article 8. Registration

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:



宿泊約款・利用規則

Accommodation Agreement

- (1) Name, age, gender, address and occupation of the Guest(s);
 - (2) With the exception of Japanese citizens, nationality, passport number, and port and date of entry in Japan;
 - (3) Date and estimated time of departure; and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. With the exception of Japanese citizens, any Guest without Japan residency shall show his passport and allowed it to be copied or otherwise recorded.
3. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Article 9. Occupancy Hours of Guest Rooms

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. to 11 a.m. However, different occupancy hours may apply if so defined in the reservation.
2. The Hotel may, not with standing the provisions prescribed in preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) Up to 4 hours: 30% of the room charge
 - (2) Up to 7 hours: 50% of the room charge
 - (3) More than 7 hours: 100% of the room charge

Article 10. Observance of Use Regulations

The Guest shall observe the House Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11. Business Hours

1. The operating hours of the major facilities of the Hotel are as listed below. For more information regarding operating hours of facilities please consult the pamphlets provided in your room or information posted at various locations in the Hotel.
Front desk, cashier service, etc.
 - (a) Curfew: None Note: The 1st-floor main entrance is locked late at night through early morning. Use your card key for admission during these hours.
 - (b) Front desk service: Open 24 hours
 - (c) Currency exchange: Open 24 hoursRestaurant hours
Refer to "Restaurant information".
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Article 12. Payment of Accommodation Charges

1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay are as listed in the Attached Table No.1.
2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid in Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and at his disposal.

Article 13. Liabilities of the Hotel

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and / or related agreements. However, the same shall not apply in case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
2. The Hotel has received a certificate of compliance with the Fire Service Act and related regulations, but is also covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and / or other disasters.

Article 14. Handling when Unable to Provide Contracted Room

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Article 15. Handling of Deposited Articles

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, in the event the Hotel requests declarations for such cash or valuables and the Guest fails to do so, compensation shall be limited to 200,000yen.
2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage, or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to goods, cash, or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk.

Article 16. Custody Baggage and / or Belongings of the Guest

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall handle the article in accordance with Lost Property Act.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 in the case of Paragraph 2.

Article 17. Liabilities of the Guest

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Article 18. Language of Precedence

This Accommodation Agreement is published in Japanese and other language(s), and in the event of any discrepancy in the wording or other matters, the Japanese shall have precedence.

Article 19. Applicable Governance and Jurisdiction

Regardless of its place of execution, this Agreement shall be governed by and interpreted under the laws of Japan. The court with jurisdiction over the area including the address of the Hotel shall have exclusive jurisdiction over any suit in connection with this Agreement.

Attached Table No.1: Calculation Method for Accommodation Charges, etc. (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents	
Total amount to be paid by Guest	Accommodation charge	① Room charge	② Service charge(① ×10%)
	Extra charge	③ Meal & drink expenses	④ Service charge(③ ×10%)
	Tax	⑤ Consumption tax	⑥ Accommodation tax

Remarks:

1. Room charge as per the Hotel's accommodation charge list.
2. In the event tax laws are revised, the above table shall be automatically revised accordingly.



宿泊約款・利用規則

Accommodation Agreement

Attached Table 2: Cancellation Charge (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date When Cancellation of Contract is notified Contracted Number of Guest		No Show	24 hours prior	48 hours prior	7 Days Prior	21 Days Prior
Individual	1 to 9	100%	100%	80%	40%	—
Group	10 and more	100%	100%	80%	40%	20%

Remarks:

1. The percentages signify the ratio of cancellation charge to Basic Accommodation Charge.
2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 10 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charge for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 8 days prior to the occupancy (When accepted less than 8 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.

HOUSE REGULATIONS

Every guest is requested to observe and comply with following Regulations established by the Hotel to ensure that Hotel guests have a pleasant and safe stay, in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. If a guest does not comply with the House Regulations, the Hotel may forbid further use by the guest of the guest's Hotel room and other Hotel facilities pursuant to Article 7 of said Terms and Conditions. The Hotel will not be liable to any guest or other person for any damage caused by his / her failure to comply with the House Regulations.

For Your Safety and Security

1. Please refrain from using any electrical appliances such as heaters, cooking appliances or irons that are likely to cause a fire.
2. Kindly do not smoke in bed or in any place where smoking presents a fire hazard.
3. Please refrain from any other acts which may cause a fire in your room or anywhere in the Hotel.
4. Please review the emergency exit instructions posted on the inside of the guest room door and locate the emergency exits on your floor promptly upon your arrival.
5. Please remember to carry your key with you any time you leave your room. All room doors lock automatically and cannot be opened without the key.
6. Please make sure your door is locked when leaving your room. Please be sure to use the door latch whenever you stay in the guest room, particularly at night. Please identify any visitor through the peephole or by keeping the door half open without undoing the door latch. Contact the front desk if you see or hear anything suspicious.
7. Please refrain from holding meetings with visitors in your room.
8. Please refrain from inviting outside visitors to your guest room.

Regarding Personal Possessions and Valuables

1. Each Guest room is provided with a safe for money and valuables. Even if the Guest elects to make use of the safe, however, the Hotel shall not be liable for the loss or theft of money valuables.
2. In principle, clothing and other items left by the Guest shall be handled in accordance with the Lost Property Act, unless other instructions are received from the Guest.

Regarding Payment for Services

1. Payment for all hotel services may be made in cash, traveler's checks, and travel vouchers or coupons accepted by the Hotel. You will be requested to settle outstanding charges each time they reach a total of 100,000yen during your stay at the Hotel.
2. When charging any hotel restaurant, bar or other charges to your room, please show the guest card presented to you when checking in.
3. You may be required by the Hotel to pay a portion of room charges as a guarantee of payment when you check in.
4. The Hotel cannot accept payment by, or cash, any checks other than traveler's checks.
5. Airline, train and bus tickets, taxi coupons, postal stamps, luggage delivery services, and items and services purchased in shops in the hotel cannot be added to your hotel bill.
6. A 10% service charge and taxes at the rate prescribed by applicable laws shall be added to your bill. You are cordially requested not to give tips to employees of the Hotel.

Please observe the following:

1. Please do not bring any of the following onto the premises of the Hotel:
 - (a) animals or birds of any kind;
 - (b) gunpowder, oil or other explosives or inflammables;
 - (c) objects omitting foul odors;
 - (d) unregistered firearms or swords;
 - (e) objects of an unusually large size or in unusually large quantities; or
 - (f) other objects possession of which is prohibited by the laws of Japan.
2. Gambling or other acts which are contrary to good morals or which cause an annoyance are strictly prohibited.
3. Neither guest rooms nor the lobby shall be utilized for business purposes.
4. Please do not place in or let hang from the windows of the Hotel or guest rooms any items or objects whatsoever.
5. The distribution or display of advertisements and the sale of goods on the premises of the Hotel are prohibited.
6. Please refrain from using equipment and fixtures for purposes other than those intended; removing them from their designated locations, or excessively altering their existing state.
7. You are reminded that unauthorized publication for business purposes of photographs taken on the premises of the Hotels may be subject to legal action.
8. Please do not place any personal belongings in the lobby or passageways of the Hotel.
9. Ordering meals and drinks to be delivered from outside the Hotel is not permitted.
10. Please refrain from using the halls, lobby, restaurants or other public places dressed in bathrobe, nightwear and slippers.
11. Minors may not stay in the Hotel unless accompanied by parents or other legal guardians, or unless written permission is received from parents or guardians permitting such stays.
12. You will be charged for any damage, staining or dirtying, and loss to Hotel structure, furniture, facilities and other property caused by you or by your guests.
13. Smoking is prohibited except in designated smoking areas.
14. An extra charge shall be added for each outgoing call made from your room.

